

「神之嶺小学校の井之川夏目踊り伝承活動の取組」

1 学校名 徳之島町立神之嶺小学校

2 学年・人数 小学校1年生～6年生 68人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成29年4月～7月 総合的な学習の時間（本校運動場及び体育館）

(2) 発表の日時・場所

平成29年9月17日（日）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

井之川夏目踊り（いのかわなつめ踊り）

(2) 由来

伝来時期については不明であるが、祖先崇拝や集落の繁栄を祈念したものである。集落の家々を巡りながら踊るもので、男女が歌を掛け合いながら踊り、歌・踊り・楽器の役割が未分化である点は、日本列島内で最も古い芸能の形態を留めている。

(3) 構成等

男女が「1 でんだらこ 2 秋津なおぐすく 3 なんごのちゆがなびい 4 浜崎 5 山のはげ岳 6 あったら七月 7 東（アガレ）ひがしま 8 さんぐわだきい 9 三京ぬながだわ 10 城（グスク）ゆり…とうゆみ 11 五尺手拭 12 朝潮満上がり 13 どおくぬさんぐわ 14 正月唄 15 田植唄 16 秋ムチ 17 ちちん 18 糸満あかぶさ」の歌を掛け合いながら踊り、集落中をねり歩く。

5 保存会や地域との連携の具体

夏目踊り保存会から5人ほど、夏目踊りの指導するための講師として学校から派遣の要請を行っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎年9月中旬に行われる運動会は、幼稚園・小学校・中学校の合同で行われるが、神之嶺小学校校区の住民が一同に集まるので、幼い子どもから高齢者の方まで参加する。その運動会のプログラムの中で、夏目踊りがあり、児童・生徒だけでなく、大人も一緒になって夏目踊りを踊っている。各世代へ夏目踊りへの伝承並びに郷土の文化等に関心をもつように、学校と保存会が相互に連携している

7 取組の様子



【発表の様子】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

- 地域の文化や芸能を知ることができよかった。(児童)
- 地元出身の教員が少ない中，地域のことをよく知る住民と連携し，校区全体で夏目踊りをはじめ郷土の文化や歴史を知る機会があつてよかった。
(保護者)
- 文化財（伝統芸能）の伝承については，保存会だけの取組では限界があるので，学校や地域の住民をいかに巻き込めるかが重要になる。(保存会)